《 1 大規模荷主 》

事業者:	名 日清シスコ株式会社 フェ	事業所名 東京工場			
	取 組 措 置	具体的取組措置	R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握	2020年8月より自社倉庫からマザー倉庫での積み込み集約へ移行した事による移送距離削減分のガソリン使用量をCO2削減効果として確認中。	0	0	0
(01)	二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出				
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握	賃物運送事業者と月1回Teamsにて運行状況確認と情報共有を行っている。	0	0	0
(02)	貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のため の取組実施				
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	埼玉県内の業者様へ自動車地球温暖化対策計画書の確認	0	0	0
(01)	貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二 酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認				
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	ISO14001の認証取得の確認 	0	0	0
(02)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認				
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化	全国・各営業所に物流拠点を設置して最終顧客への配送を実施している。	0	0	0
()					
04	積載率の向上による輸配送の効率化	パレットのサイズに合わせて最大限載せられる商品規格に取り組んでい る。	0	0	0
(01)	商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の 向上				

04	積載率の向上による輸配送の効率化 混載便の利用や共同輸配送の取組	菓子メーカー数社による共同配送を行っている。	0	0	0
04	積載率の向上による輸配送の効率化	積載量に応じて、4t・10tの車両の使い分けをしている。			
	輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注		0	0	0
05 (01)	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化発注時間及び配送時間のルール化	午後1時30分を当日出荷分の締め切り時間とし、ルール化している。	0	0	0
05 (02)	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 道路混雑時の輸配送の見直し	納品時間の変更を納品先に依頼し、混雑を避けて配送している。	0	0	0
05 (03)	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化輸送車両の待ち時間の削減	バラ積、バラ降ろしからパレット運送への切替えを進めている。	0	0	0
06	その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組	マザー倉庫化し商品を集約する事で輸送の効率化を進めている。	0	0	0
07 (01)	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭 載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	車両交換時に低燃費車への切替えの推進。	0	0	0

07	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	定期的に貨物輸送事業者へ、エコドライブの実施要請をしている。	0	0	0
07	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの 実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	低燃費車の使用状況、及び納品コースの適性を随時確認している。	0	0	0
07	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	構内にアイドリングストップ表示を掲示し、注意喚起している。	0	0	0
()	共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進	北海道・九州地区へは船便を利用した運送を行っている。	0	0	0

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者	名 日清シスコ株式会社	事業所名	東京工場			
	取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置	R3	R4	R5
03	自転車への転換の推進 自転車の安全利用の促進	通勤で自転	車を利用する従業員へ自転車保険の加入を義務付けている。	0	0	0
(01)	日私牛の女主利用の促進					
03	自転車への転換の推進 	駐輪場を工	場敷地内に設置している。	0	0	0
(02)	利用しやすい駐輪場の設置・維持管理					

(01)	その他マイカー通勤を削減するための取組 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	通勤手当・基準の定期的な見直し。	0	0	0
04	その他マイカー通勤を削減するための取組テレワーク制度の導入	テレワーク制度の導入。(本社・間接部門のみ)	0	0	0
05	エコドライブの推進	工場敷地内にアイドリングストップ表示の掲示。	0	0	0
07	時差通勤の実施	一部部門にてフレックス制度を導入	0	0	0